010	J+7	文 工于印建。	木丁		<b>築環境コース</b>   <sub>1年次</sub>	/	1 1木作土:	表 (2014年度	<b>シ巡州)</b> <sup>実次</sup>		the.	_	(学年は標準年次 4年次													
		第1セメン	スター		第2セ	マター		第3セメス	ター	21	+ 5. 第4セメス:	9—		第5セメス	9—	3年	第6セメスタ	7—		第7セメス	9—	44-	第8セメ	スター		卒業 要件
		授業科目	単位	担任		単布	担任者	授業科目	単位	担任者		単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目		担任者	単位数
	基	微分積分学A	4	*1	•	4	*7 小野	△微分積分学B 微分積分学B	4	小野	△微分積分学B	4	矢島									1				
	能必修 科目				微分積分学A 物理学A	4	{ 何森 小林 宇佐見	△微分積分学A △物理学A	4		; ; ;			同名科目が複数のセメス	マター(	こ存在する場 ■ ■	合, 2つ以上を履修するこ	とはつ	でき							16
		物理学概説	4	宇佐	見 □△物理学概説	4	清水	物理学実験A	2	*6	物理学実験A	2	*8			12	△物理学実験A	2								
2 石 オ	基準科目	微分積分学入門	4		△微分積分学入門	4	鈴木(友	)確率·統計 I △幾何学B	2 2	山崎(教)	代数学概論 △幾何学B	2 2	伊東越野									1				
	基礎選択科	幾何学A	2		幾何学B 敏)	2	鈴木(敏 大町	物理学B △幾何学A	2 2	相澤 大町	i	2	松田相澤	物理学Ⅳ	2											4 以 上
	目	情報処理演習I	1	日比!	           △情報処理演習 I	1	小林	化学実験A 基礎化学 I	2	⟨石田 (電山 岩倉	I ■基礎化学Ⅱ ■	2	る 石田 ( 亀山 岩倉													
ŀ	専	建築グラフィックス : 建築のデザイン	3 2	<b>人</b> 井上	設計製図 I 建築の構工法   建築の力学	3 2	*3 島崎 「岩田	△情報処理演習 I  建築環境工学 I 及び演習  設計製図 II  建築の材料	1 3 3 2	*4	建築環境工学Ⅱ及び演習 地球環境建築 空調設備Ⅰ	3 2 2	岩本岩田奥山	建築法規 建築技術英語 I 環境システム計画演習 I	2 1 2	ž	建築の生産 建築技術英語 II 環境システム計画演習 II	2 1 2				研究(通年) 論講(通年)		_	専任全員 専任全員	
7.	円必修科目	建築の構造	2	岩田	及び演習 ■ ■建築の設備	2	<b>し</b> 趙(衍) 奥山	建築史A 建築計画A	2 2	津田	建築史B 給排水衛生設備	2		建築環境輪講 I 建築環境工学実験	1 2	1 1	建築環境輪講Ⅱ	1								65
l		建築環境概論	2	岩本安田	İ		C #m			C .1. 🗢	!		C H +			-						-				
I	専門科				建築CAD演習 I ・ 造形デザイン	2	安田 鳥谷部 津田 井上	建築CAD演習 II 骨組の力学 I	2	鄭	鉄筋コンクリート構造 基礎構造の設計	2	岩安島塔本田崎本	建築の耐震解析 及び演習 鉄骨構造	2	19	建築都市防災 Ⅱ 電気設備 建築デザインⅢ	2 3		建築情報・管理システム 都市計画	2					
	専門選	I I						及び演習 木質構造	2		及び演習 骨組の力学Ⅱ 及び演習	3	石原 島崎 荏本	空調設備 II 建築デザイン II 建築設計論	2 3 2	1	建築史フィールドワーク 都市デザイン論	2								
	択科目										建築デザイン I 建築計画B	2	*5	建築史C 鉄筋コンクリート構造の設 計演習 建築構造・材料実験	2	ž	狭骨構造の設計演習 建築構造輪講Ⅱ 建築デザイン輪講Ⅱ	1								8
											: ! ! !			建築構造輪講 I 建築デザイン輪講 I 建築都市防災 I	1 1 2		建築学実験	2								L L
ŀ					工業概論	2	*2	職業指導 I (工業) 応用数学 I	2 2		職業指導Ⅱ(工業)	2	小嶋	建築設備演習 代数学 I	2	東川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	代数学Ⅱ	2	し勝野	-	2		品質工学	2	秋葉	
	関連科	このほか共通 外国語を含む		目,他学	■ ■ 第他学科開講の専攻科目》	及び[卒	業要件]4(2)	に示す						微分方程式 I 技術者倫理	2	し川崎(教)	激分方程式Ⅱ 技術者倫理	2	し山崎(教)	信頼性工学 量子物理学 I 統計物理学 I	2 2 2	西野	対	2 2 2	儀我 森住 野村	
	目															<i>9</i>	知的財産権 確率・統計Ⅱ 応用数学Ⅱ	2	松山 儀我 平田				統計物理学Ⅱ	2	矢崎	

\*1:鈴木(友),鈴木(敏),高橋,小林,平田,伊東,越野 \*2:中西,伊藤,原村,三谷,窪谷,内田,島崎,中井,鎌田 \*3:中井,津田,三笠,鈴木(信),ベラ,鄭 \*4:中井,津田,吉尚,鈴木(信),ベラ,鄭 \*5:山家,重村,三笠,吉岡,猪熊,柳澤 \*6:相澤,渡邊(靖),白崎,坂口 \*7:鈴木(友),鈴木(敏),村田,高橋,平田,伊東,越野 \*8:相澤、白崎、坂口

#### 「備 考〕

△印は再履修授業科目を示す。また、【建築環境コース】とある項目以外は、コース間で共通である。

### [履修要件]

- 1 **上位年次科目の履修制限**:上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては2年次から、専門選択 科目においては3年次から、この制限を設けない。
- 2 他学部・他学科開講科目:他学部,他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部、他学科が受講を認めない科目については履修できない。
- 3 **履修登録単位数の上限**:1年間に履修登録できる単位数は、54単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は30単位とする(通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する)。ただし、2年以上在学し、各セメスター30単位以下、年間54単位以下では4年次への進級要件を満たさない場合に限り、学科主任の許可を得て、本制限を超えた履修を認めることがある。なお、第二外国語、選択英語、卒業要件単位に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については、本制限を適用しない。
- 4 微分積分学入門:本科目の履修は「微分積分学A」及び「微分積分学B」の未修得者に限る。

#### 〔コース制〕

- 1 コース申請:2年次の第3セメスターの初めに学科で実施する志望コース申請に基づき決定する。
- 2 **コース変更**: 希望者は、特別の事情がある場合を除き、2年次第3セメスター終了時、第4セメスター終了時に変更申請を学科に提出する必要がある。その後、それまでの学業成績等を参考に選考を行い、学科の承認を経て認める。

#### [進級要件]

- (1年次から2年次) 1年次終了までに下記の単位を修得しなければならない。
- 1 必要単位数:卒業要件単位数のうち,以下の必要修得科目を含めて26単位以上。
- 2 必要修得科目: FYS, 及び1年次履修の専門必修科目から10単位以上。
- (3年次から4年次)3年次終了までに下記の単位を修得しなければならない。
- 1 必要単位数:卒業要件単位数のうち、以下の必要修得科目を含めて100単位以上。ただし、編入学者に対しては別途認定する。
- 2 必要修得科目【建築環境コース】
  - (1) 基礎科目から物理学実験 A,微分積分学 A,B,物理学概説,物理学 A を含めて 17 単位以上。
  - (2)3年次までの専門必修科目27単位以上。
  - (3) 環境システム計画演習 I, 環境システム計画演習 II, 建築環境工学実験から 3 単位以上。

### 〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。 なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

# [卒業要件]

1 卒業要件単位数【建築環境コース】:4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目					共	通教	養科	目							専 攻	科目			
			共通基	盤科目				共通	テーマ	科目			基礎	科目	朝門	科目			
入学年度	F Y S (必修)	外国語科目(必修)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいかたちを求めて	共通教養科目 合計	基礎必修科目	基礎選択科目	専門必修科目	専門選択科目	関連科目	専攻科目 合計	<□ <sub>min</sub>
2014 年度		0	4	4	4				2			90	10	4	65	١.		93	105
以降入学	2	8					8					32	16	4	69		3	93	125

- 2 共通教養科目について: FYS(必修) 2 単位、外国語科目(必修) 8 単位、「人文の分野」「社会の分野」「自然の分野」からそれぞれ4単位、共通テーマ科目から2 単位修得しなければならない。そのほかに4 分野及び共通テーマ科目から8 単位以上修得し、計32 単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化  $I \sim III$ 」は、2 単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 3 外国語科目について:必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。
- 4 関連科目(単位換算)について
  - (1) 共通教養科目で「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目に換算できる。
  - (2) 同一言語同一名称の科目を I·II のペアで修得した(必修以外の)外国語科目は、関連科目に換算できる。
  - (3) 他学部, 他学科開講の専攻科目は, 関連科目に換算できる。
- 5 **総合工学プログラムについて**:同プログラムから建築学科に分属された学生は、同プログラムの卒業要件に従って履修した専攻 科目の修得単位を建築学科の専攻科目に置き換えることができる。

## 教育課程表における標準年次の区切線について 一

- ① 標準年次が実線 (----) で区切られている場合, 原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線 (……) で区切られている場合,原則として上位年次の授業科目は履修できますが, [履修要件] 等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。

# 2015年度 工学部建築学科(建築構造コース)教育課程表 (2014年度入学者から適用)

(学年は標準年次を示す)

20	5年)	支 <u>上子</u>	采子		築構造コース	叙	月味性	文 (2014年度		3年次						(学年は標準年次を示4年次										
		第1セメス	27	1	年次 第2セメン	, <u>2</u> 7		第3セメス	λ7	24	手次 第4セメスク	7		第5セメスタ	7	34	片次 第6セメス	λ7		第7セメスク	7	4年8	第8セメスク	7		卒業 要件
		授業科目	単位	担任者		単位	担任者	授業科目	単位	担任者		単位	担任者		単位	担任者	授業科目		担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目		担任者	単位数
h		微分積分学A	4	*1	微分積分学B	4	*7	△微分積分学B	4		△微分積分学B	4	矢島	及来行口	华压	TAILE	以朱竹百	华压	TAILLE	及朱打百	4412	7 17 17 B	及来打口	华瓜	TAILE	
	基	1000 1000 111			△微分積分学A	4		微分積分学B	4	小野			, (12)													
	繼 必 修				微分積分学A	4	{ 何森 小林	△微分積分学A	4	村田				同名科目が複数のセメス	タール	に存在する	場合, 2つ以上を履修する	ことは	できない。							16
	科目				物理学A	2	宇佐見	△物理学A	2	相澤																
		物理学概説	4	宇佐見	△物理学概説	4	清水	物理学実験A	2	*6	物理学実験A	2	*8				△物理学実験A	2								
	基礎科目	微分積分学入門	4		△微分積分学入門	4	鈴木(友)	確率・統計 I △幾何学B	2 2		代数学概論 △幾何学B	2	伊東越野	M am N m												
	基礎選	幾何学A	2	高橋     鈴木(敏)	i		鈴木(敏)	物理学B △幾何学A	2	相澤大町	物理学Ⅲ △物理学B	2	松田 相澤	物理学IV	2											4 以
	杯科目				△幾何学A	2	大町	化学実験A	2	{ 岩倉 石田	化学実験A	2	{ 岩倉 石田													上
		情報処理演習 I	1	日比野	△情報処理演習Ⅰ	1	小林	基礎化学 I △情報処理演習 I	2	名山 岩倉 江口	基礎化学Ⅱ	2														
		建築グラフィックス	3	∫内田	設計製図 I	3	*3				骨組の力学Ⅱ及び演習	3	島崎	建築法規	2		建築の生産	2				研究(通年)		4	専任全員	
				井上	建築の構工法	2		設計製図Ⅱ	3	*4	:	_	<b>【</b> 荏本		_		建築技術英語Ⅱ	1			卒研	論講(通年)		2	専任全員	
	専	建築のデザイン 建築の構造	2	内田 岩田	建築の力学及び演習	3	岩田   趙(衍)	建築の材料 建築史A	2		地球環境建築 建築史B	2	岩田 内田	建築技術英語 I	1		鉄骨構造の設計演習	2								
	必		2	岩本	建築の設備	2		建築史A 建築計画A	2	中井	建柴丈B	2	МШ	鉄筋コンクリート構造の 設計演習	2		建築構造輪講Ⅱ	1								63
専	修科	建築環境概論	2	安田	是来少成圃		ДЩ			島崎				建築構造・材料実験	2		在来特地辅码1	1								00
攻科	目	+ 1.174		荏本	į			骨組の力学 I 及び演習	3	岩田				建築構造輪講 I	1		i									
目		力と形	1 '	齊藤	:						:			建築都市防災 I	2		:									
					建築CAD演習 I	2	<b>安田</b>			山家	建築情報処理	1 -	岩本	建築の耐震解析及び			電気設備	2				1 1				
	専						<b>し</b> 鳥谷部	建築CAD演習 II	2	鳥谷部	鉄筋コンクリート構造		安田島崎	演習	3		Tables of 11° A. TIT	3		建築情報・管理システム						
	門 科				į		(津田	木質構造	2	-		2		鉄骨構造	2		建築デザイン <b>Ⅲ</b> 建築史フィールドワーク	2		都市計画	2	1 :				
	目				造形デザイン	2 -	井上	小具併坦	_	ЖЩ	を映構 担の取引及 び演習	3 -	石原	X 日 11月1旦	2		都市デザイン論	2		게하다 마다 프리						
	専				į		-	建築環境工学Ⅰ及び演習	3	安田	建築環境工学II及び演習	3	岩本	空調設備 II	2							1 1				
	門 388										空調設備 I	2	奥山	建築デザインⅡ	3		環境システム計画演習 Ⅱ	2								10
	択				į						建築デザイン I	3	*5	建築設計論	2							1 1				
	科目										74-427 \$1. aut p		山安	建築史C	2		建築環境輪講Ⅱ 建築デザイン輪講Ⅱ	1				1 :				以上
					į						建築計画B	2	山家	環境システム計画演習Ⅰ	2		建築学実験	2				1 1				
											給排水衛生設備	2	鎌田	建築環境工学実験	2		在来于大歌	2								関
					į									建築環境輪講 I	1		7.35. Anto -terr -t 17-t (() Tr					1 1				連科
														建築設備演習	1		建築都市防災Ⅱ	2				1 :				目
														建築デザイン輪講 I	1											は 8
					工業概論	2	*2	職業指導Ⅰ(工業)	2		職業指導Ⅱ(工業)	2	小嶋	代数学 I	2	▼川 勝野	代数学Ⅱ	2	∫東川	関数論 I	2	<b>「勝野」</b>	品質工学	2	秋葉	単
	88				•			応用数学 I	2	平田						し 勝野 「 大町	i !		し勝野 大町	信頼性工学	2	機我 浅野	関数論Ⅱ	2	勝野 儀我	位ま
	関連		1	ole u.···	i		to the market is							微分方程式 I	2	山崎(教	微分方程式Ⅱ	2	J	量子物理学I	2		ンピュータⅡ	2	森住	で
	科目	このほか共道 外国語を含む		科目,他学	部他学科開講の専攻科目	及び[四	☆薬要件J4(2	ルこホす						技術者倫理	2	三谷	技術者倫理	2		統計物理学 I	2		量子物理学Ⅱ	2	野村	$\overline{}$
	П				i												知的財産権	2	松山			新	た計物理学Ⅱ	2	矢崎	
					}												確率・統計Ⅱ	2	儀我							
Ш		(木(友), 鈴木(敏), 7		L		Ц_					<u>.</u>	لبيا		【 ■. 三笠. 鈴木(信). ✓		258	応用数学Ⅱ *4·中井 津田 吉	2	平田	ベラ・鄭		1 :				

\*1:鈴木(友),鈴木(敬),高橋,小林,平田,伊東,越野 \*2:中西,伊藤,原村,三谷,窪谷,内田,島崎,中井,鎌田 \*3:中井,津田,三笠,鈴木(信),ベラ,鄭 \*4:中井,津田,吉尚,鈴木(信),ベラ,鄭 \*5:山家,重村,三笠,吉岡,猪熊,柳澤 \*6:相澤,渡邊(靖),白崎,坂口 \*7:鈴木(友),鈴木(敏),村田,高橋,平田,伊東,越野 \*8:相澤,白崎,坂口

#### 「備

△印は再履修授業科目を示す。また、【建築構造コース】とある項目以外は、コース間で共通である。

### 〔履修要件〕

- 上位年次科目の履修制限:上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては2年次から、専門選択 科目においては3年次から、この制限を設けない。
- 他学部・他学科開講科目:他学部、他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要 である。他学部,他学科が受講を認めない科目については履修できない。
- 3 履修登録単位数の上限:1年間に履修登録できる単位数は、54単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は30単位 とする (通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する)。ただし、2年以上在学し、 各セメスター30単位以下、年間54単位以下では4年次への進級要件を満たさない場合に限り、学科主任の許可を得て、本制限 を超えた履修を認めることがある。なお、第二外国語、選択英語、卒業要件単位に算入されない資格教育課程に関する科目及び 教職課程の「教職に関する科目」については、本制限を適用しない。
- 4 微分積分学入門:本科目の履修は「微分積分学A」及び「微分積分学B」の未修得者に限る。

## 〔コース制〕

- 1 コース申請:2年次の第3セメスターの初めに学科で実施する志望コース申請に基づき決定する。
- 2 コース変更:希望者は、特別の事情がある場合を除き、2年次第3セメスター終了時、第4セメスター終了時に変更申請を学科 に提出する必要がある。その後、それまでの学業成績等を参考に選考を行い、学科の承認を経て認める。

#### 「谁級要件)

- (1年次から2年次) 1年次終了までに下記の単位を修得しなければならない。
- 1 必要単位数:卒業要件単位数のうち,以下の必要修得科目を含めて26単位以上。
- 2 必要修得科目: FYS, 及び1年次履修の専門必修科目から10単位以上。
- (3年次から4年次)3年次終了までに下記の単位を修得しなければならない。
- 1 必要単位数:卒業要件単位数のうち,以下の必要修得科目を含めて100単位以上。ただし、編入学者に対しては別途認定する。
- 2 必要修得科目【建築構造コース】
  - (1) 基礎科目から物理学実験 A, 微分積分学 A, B, 物理学概説, 物理学 A を含めて 17 単位以上。
  - (2)3年次までの専門必修科目27単位以上。
  - (3) 鉄骨構造の設計及び演習,鉄筋コンクリート構造の設計演習,建築構造・材料実験から3単位以上。

### 〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。 なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定 された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

# 〔卒業要件〕

1 **卒業要件単位数**【建築構造コース】: 4 年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目					共	通教	養科	目							専 攻	科目			
\   汉来行口			共通基	盤科目				共通	テーマ	科目			基礎	科目	朝門	科目			
入学年度	F Y S (必修)	外国語科目(必修)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいかたちを求めて	共通教養科目 合計	基礎必修科目	基礎選択科目	専門必修科目	専門選択科目	関連科目	専攻科目 合計	合計
2014 年度 以降入学	2	8	4	4	4				2			20	16	,	63	1	0 連8	93	105
以降入学	科学   <sup>2</sup>   °   ································						8 32							4	63	まっ	_	93	125

- 2 共通教養科目について: FYS(必修)2単位,外国語科目(必修)8単位,「人文の分野」「社会の分野」「自然の分野」からそれ ぞれ4単位、共通テーマ科目から2単位修得しなければならない。そのほかに4分野及び共通テーマ科目から8単位以上修得し、計32単位以上修得しなければならない。なお、人間形成の分野「スポーツ文化  $I\sim III$ 」は、2単位まで卒業要件単位数に算入す ることができる。
- 3 外国語科目について:必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。
- 関連科目(単位換算)について
  - (1) 共通教養科目で「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目に換算できる。
  - (2) 同一言語同一名称の科目を I·Ⅱ のペアで修得した(必修以外の)外国語科目は、関連科目に換算できる。
- (3) 他学部, 他学科開講の専攻科目は、関連科目に換算できる。 総合工学プログラムについて:同プログラムから建築学科に分属された学生は、同プログラムの卒業要件に従って履修した専攻 科目の修得単位を建築学科の専攻科目に置き換えることができる。

# 教育課程表における標準年次の区切線について

- ① 標準年次が実線(―――)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線 (………) で区切られている場合, 原則として上位年次の授業科目は履修できますが, [履修要件] 等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。

2015年度 丁学部建築学科(デザインコース)教育課程表 (2014年度入学者から適用)

(学年は標準年次を示す)

201	5牛/	夏 上子部建築	₹ <del>了</del>		げインコース) 孝	以百	謀程表	(2014年度入	、子					T		(学年は標準年次を									
		Me	)-	14	<b>手次</b>	h-		Marco		2	2年次			frie = 1		3年次	-		Mr x		4年		h-		卒業
		第1セメス	_	In to the	第2セメス	_	lo to de	第3セメスタ	_	In to a	第4セメス	9	In to de	第5セメスタ	_	第6セメス		In terms	第7セメスク	_	lo te de	第8セメス		In te de	要件単位数
Н	_	授業科目 微分積分学A	単位	担任者	授業科目 微分積分学B	単位		授業科目 △微分積分学B	単位			単位	担任者	授業科目	単位	担任者 授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	
		級分損分子A 幾何学A	×4 ×2			×4	*7 小野	公做分槓分字B 微分積分学B	×4 ×4	小野	△微分積分学B	×4	大島												
	基 礎 必			( RIVINGE)	微分積分学A	$\times 4$	√ 何森 小林	△微分積分学A	$\times 4$	村田	!			同名科目が複数のセメス	ター	に存在する場合、2つ以上を履修す	ること	はできない。							
	修科				△幾何学A	×2	大町	△幾何学A	×2	大町	. [					!					1				12
	目				物理学A	$\times 2$	宇佐見	△物理学A		相澤	- I					į					l į				
	基	物理学概説	4	字佐見	△物理学概説	4	清水	物理学実験A	$\times 2$		物理学実験A	$\times 2$	*8			△物理学実験A	2				l į				
	礎 科	10-11 3 Marie		7 111170	 		11373	化学実験A	×2	岩倉 石田	√ 空 宝 輪 △	$\times 2$	{岩倉 石田								1				
		微分積分学入門	4	何森	  △微分積分学入門	١,	44+(+)	確率·統計 I		/± +1-	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		伊東												
	基			( 大局	【△做万慎万子八门 【	4	如小(久)	確率・机計 1 △幾何学B	2		→ 1代級子慨編 め △幾何学B	2	越野			;					;				
	罐選				% (at⇔p		AA→(5h)				物理学Ⅲ	2	松田	物理学IV	2										8 以
	択科				幾何学B	2	鈴木(敏)	物理学B	2		△物理学B	2	相澤												上
	目	Jako dan Amaraka 1931 T		ㅁ쌰麻	V her till fill vallyty all i		4.44	基礎化学 I	2	€山	基礎化学Ⅱ	2	<b>∫</b> 亀山								1				
		情報処理演習I	1	口几野	△情報処理演習Ⅰ	1	小林	△情報処理演習 I	1	(石) 江口			1 岩倉								i				
		建築グラフィックス	3 .	内田	設計製図 I	3	*3	設計製図Ⅱ	3	*4	建築デザイン I	3	*5	建築法規	2	建築の生産	2		2	卒業研	肝究(通年)		6	専任全員	
		産業グラフィックへ	3	井上	建築の構工法	2	島崎	建築の材料	2		地球環境建築	2	岩田	建築技術英語 I	1	建築技術英語Ⅱ	1		ž	卒研輔	論講(通年)		2 1	専任全員	
	専門	建築のデザイン	2		建築の力学及び演習	3	岩田 趙(衍)	建築史A 建築計画A	2 2	津田中井	建築史B	2	内田	建築デザインⅡ 建築デザイン輪講 I	3	建築デザインⅢ 建築デザイン輪講Ⅱ	3								
	必	建築の構造	2		■ 建築の設備	2	奥山	建柴計画A	2	中升	· I			建築プリイン無講 1	1	建築学実験	2								60
亩	修科	建築環境概論		∫岩本	1						1					1									
攻	目	<b>建柴</b> 琛児憱論	2	安田	] 						1														
科目		力と形	1	【 荏本 齊藤	I I						1														
					建築CAD演習 I	2	安田     鳥谷部	建築CAD演習 II	2 -	山家	建築情報処理	1 -	岩本安田	建築の耐震解析及び 演習	3	建築都市防災Ⅱ	2		建築情報・管理システム	2					
	専門				I have not use as		津田	A A C. ID (A D II			"」 鉄筋コンクリート構造	2	島崎	鉄骨構造	2	■電気設備	2		都市計画	2					
	科日				造形デザイン	2 .	井上	骨組の力学 I	3		基礎構造の設計	3 .	[ 荏本	空調設備 II	2				! !		1				
	П				1			及び演習		岩田			石原	建築環境工学実験	2	建築史フィールドワーク	2		!						
	専門				!			建築環境工学Ⅰ			骨組の力学Ⅱ 及び演習	3 -	島崎	建築設計論 建築史C	2	都市デザイン論 環境システム計画演習II	2		!		l į				13
	選				į			産業環境工子 I 及び演習	3	安田	建築計画B	2	山家	建築構造・材料実験	2	鉄骨構造の設計演	-				l į				10
	科				1			木質構造	2	坂田	建築環境工学Ⅱ及び演習	3	岩本	鉄筋コンクリート構造の設	2	習	2		!		;				以
	B				i İ						空調設備I	2	奥山	計演習	2	建築構造輪講Ⅱ	1		I Ī						上
					! !						■給排水衛生設備 ■	2	鎌田	建築構造輪講 I 建築環境輪講 I	1	建築環境輪講Ⅱ	1		 						関
					1 1						I I			建築都市防災 I	2				I I		1				連科
					! !						1			環境システム計画演習I	2				] 		!				目
					I and this leve as a	<u> </u>		The same real same as a second			Tennano de ano - 2 - 200	Щ		建築設備演習	1	i constitution		C	!	<u> </u>	mt/		$\sqcup$		は8
					工業概論	2	*2	職業指導 I (工業) 応用数学 I	2 2	小嶋平田	職業指導Ⅱ(工業)	2	小嶋	代数学 I	2	「東川 代数学Ⅱ 勝野	2	東川勝野	関数論 I	2	勝野占		2	秋葉 「勝野	単
	88				į	1		PL-/113X-T- 1	_	Гμ	i			I haden to a		( <del>*      </del>		C 1001	信頼性工学	2	儀我 浅野	月数論Ⅱ	2	儀我	位ま
	関連			目,他学部他	■ 也学科開講の専攻科目及び	<b>【</b> 〔卒業	<b>■</b> 要件〕6(2)に	<b>■</b> 示す			!			微分方程式 I	2	微分方程式Ⅱ 山崎(教)	2	山崎(教)	量子物理学 I	2	西野 =	<i>ン</i> ピュータⅡ	2	森住	で
	科目	外国語を含む。	•	Ì	ı	ı	Ī	Ī			-			技術者倫理	2	三谷 技術者倫理	2		統計物理学 I	2		量子物理学Ⅱ	2	野村	$\overline{}$
	_				i i						1 1			: :		知的財産権	2		I I		能	た計物理学Ⅱ	2	矢崎	
					1 1			Ì			!			;		確率・統計Ⅱ 応用数学Ⅱ	2	儀我 平田	! !		i				
		*1 · 绘木(敏) 绘木	( <del>//</del> )	喜極 小	• 林, 平田, 伊東, 越野	环	*9.由元	□ 伊藤 百村 三公	窪公	. 内日	日 島崎 由土 鎌田	*	3・由土	· 津田 三笠 絵木(信	٠, ١	ベラ, 鄭 *4:中井, 津田	_			-	<u> </u>				

\*1:鈴木(敏), 鈴木(友), 高橋, 小林, 平田, 伊東, 越野 \*2:中西, 伊藤, 原村, 三谷, 窪谷, 内田, 島崎, 中井, 鎌田 \*3:中井, 津田, 三笠, 鈴木(信), ベラ, 鄭 \*4:中井, 津田, 吉岡, 鈴木(信), ベラ, 鄭 \*5:山家, 重村, 三笠, 吉岡, 猪熊, 柳澤 \*6:相澤, 渡邊(靖), 白崎, 坂口 \*7:鈴木(敏), 鈴木(安), 村田, 高橋, 平田, 伊東, 越野 \*8:相澤, 白崎, 坂口

#### 〔備 考〕

×印は選択必修科目、△印は再履修授業科目を示す。また【デザインコース】とある項目以外は、コース間で共通である。

#### [履修要件]

- 1 **上位年次科目の履修制限**: 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし、関連科目においては2年次から、専門選択科目においては3年次から、この制限を設けない。
- 2 **他学部・他学科開講科目**: 他学部, 他学科開講の授業科目を履修する場合には、受講者数に制限があるので担任者の許可が必要である。他学部, 他学科が受講を認めない科目については履修できない。
- 3 **履修登録単位数の上限**:1年間に履修登録できる単位数は、54単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は30単位とする(通年科目については、その科目の単位数を二分割し、各セメスターの単位数として換算する)。ただし、2年以上在学し、各セメスター30単位以下、年間54単位以下では4年次への進級要件を満たさない場合に限り、学科主任の許可を得て、本制限を超えた履修を認めることがある。なお、第二外国語、選択英語、卒業要件単位に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については、本制限を適用しない。
- 4 微分積分学入門:本科目の履修は「微分積分学A」及び「微分積分学B」の未修得者に限る。

## 〔コース制〕

- 1 コース申請:2年次の第3セメスターの初めに学科で実施する志望コース申請に基づき決定する。
- 2 コース変更:希望者は、特別の事情がある場合を除き、2年次第3セメスター終了時、第4セメスター終了時に変更申請を学科に提出する必要がある。その後、それまでの学業成績等を参考に選考を行い、学科の承認を経て認める。

#### 「進級要件〕

- (1年次から2年次) 1年次終了までに下記の単位を修得しなければならない。
- 1 必要単位数:卒業要件単位数のうち、以下の必要修得科目を含めて26単位以上。
- 2 必要修得科目: FYS, 及び1年次履修の専門必修科目から10単位以上。
- (3年次から4年次)3年次終了までに下記の単位を修得しなければならない
- 1 必要単位数:卒業要件単位数のうち、以下の必要修得科目を含めて100単位以上。ただし、編入学者に対しては別途認定する。
- 2 必要修得科目【デザインコース】
  - (1) 基礎科目,及び共通教養科目の卒業要件単位(合計32単位)を超える「自然の分野」の単位の合計が16単位以上。
  - (2)3年次までの専門必修科目30単位以上。

# 〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。

- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

# [卒業要件]

1 卒業要件単位数【デザインコース】:4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

₩₩ <b>₩</b>					į	<b>共通</b>	養科	· 目							専 攻	科目			
授業科目			共通基	盤科目				共道	ラテーマ	科目			基礎	科目	朝門	科目			
入学年度	F Y S (必修)	外国語科目(必修)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	グローバル経済を学ぶ	社会と人間	科学技術と社会	生と死を考える	公共の新しいかたちを求めて	共通教養科目 合計	基礎必修科目	基礎選択科目	専門必修科目	専門選択科目	関連科目	専攻科目 合計	《口前正
2014年度	$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $						2 3						12	8	60	1	.3	93	125
以降入学	_   _							8								(関連 8	3まで)		

- 2 共通教養科目について: FYS(必修) 2 単位,外国語科目(必修) 8 単位,「人文の分野」「社会の分野」「自然の分野」からそれぞれ 4 単位,共通テーマ科目から 2 単位修得しなければならない。そのほかに 4 分野及び共通テーマ科目から 8 単位以上修得し、計 32 単位以上修得しなければならない。なお,人間形成の分野「スポーツ文化 I ~III」は,2 単位まで卒業要件単位数に算入することができる。
- 3 **外国語科目について**:必修科目としての英語を8単位修得しなければならない。
- 4 基礎必修科目について【デザインコース】: 必修科目として物理学概説 4 単位を,また選択必修科目として物理学実験 A または 化学実験 A より 2 単位以上,微分積分学 A,微分積分学 B,物理学 A,幾何学 A より B 単位以上を含まなければならない。
- 5 **基礎選択科目について**【デザインコース】: 共通教養科目の卒業要件単位(合計32単位)を超える「自然の分野」の単位を8単位まで含めることができる。
- 6 関連科目(単位換算)について
  - (1) 共通教養科目で「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目に換算できる(ただし上記5との重複は認めない)。
  - (2) 同一言語同一名称の科目を I·II のペアで修得した(必修以外の)外国語科目は、関連科目に換算できる。
  - (3) 他学部, 他学科開講の専攻科目は, 関連科目に換算できる。
- 7 **総合工学プログラムについて**:同プログラムから建築学科に分属された学生は、同プログラムの卒業要件に従って履修した専攻 科目の修得単位を建築学科の専攻科目に置き換えることができる。

### 教育課程表における標準年次の区切線について

- ① 標準年次が実線 (----) で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線 (……) で区切られている場合, 原則として上位年次の授業科目は履修できますが, [履修要件] 等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。